

久留米工大に新校舎

創立50年記念の100号館

省エネに配慮「未来の見える建物」

久留米工業大（久留米市上津町）の新校舎100号館（愛称・テクノみらい館）が完成した。名前には2016年に創立50周年を迎える同大が「創立100周年を迎えられるように」との思いが込められている。

100号館は9階建てで、主に講義室や実験室が入る。内部は建築を学ぶ学生の教材となるよう配管が見える構造になっている他、太陽光や自然の風を取

り入れる設備やソーラーパネルが取り付けられ、省エネにも配慮されている。

29日、関係者ら約1



完成した100号館

20人が出席した式典が開かれ、吉武健一理事長が「未来の見える新棟をコンセプトにしました。今後も専門性を磨き、産業界に人材を送り出したい」とあいさつした。

【柴山雄太】